



- ① 受付をする新成人たち
- ② 司会は新成人の藤岡祐自さん（山城）が行いました
- ③ 新成人誓いの言葉を述べる古地伸次さん（井川）
- ④ すべての進行を新成人企画運営委員が行いました
- ⑤ 河井祐水さん（東祖谷）の演奏で全員合唱をしました

新成人 274 人 新たな門出を祝う

三好市の新成人を祝う式典が、1月4日に池田総合体育館で開催され、式典には224人が出席しました。成人式の対象者は平成6年4月2日から平成7年4月1日に生まれた方で、新たに274人が大人への第一歩を踏み出しました。

成人式を自らが企画・運営

成人式は、新成人で組織された新成人企画運営委員が式の企画を行い、受付や司会などの運営面も委員が行いました。

司会の藤岡祐自さん（山城）が成人式の進行を行い、運営委員の河井祐水さん（東祖谷）の演奏による国歌斉唱の後、黒川市長が「新たな船出にあたり、どんな状況にあっても自らの信念と不屈の意志で自らの道を切り開いてほしい。いつまでも現在の心の輝きを失うことなく、社会人として、さらなる成長を遂げてほしい」と新成人を激励しました。

祝電披露の後、新成人を代表して古地伸次さん（井川）が、関係者や家族に感謝の言葉を伝えるとともに、「感謝の気持ちと三好市で生まれ育つことに誇りを持ち、ふるさと三好のますますの発展に寄与したい」と新成人の誓いを述べました。

リレーでつなぐ感謝の言葉

今年の成人式では、アトラクションとして中学校の思い出の写真とともに各中学校3年時の担任の先生からのビデオレターが上映されました。スクリーンに恩師や中学校時代の写真が映し出されると、会場からは懐かしむ声や笑い声が聞こえてきました。

式典の最後には、新成人からお世話になった方々への感謝の言葉リレーが上映されると、晴れ姿を見守る両親からは笑顔がこぼれ、会場は温かい気持ちに包まれました。終了後、出身地区ごとに記念撮影が行われました。

会場周辺は真新しいスーツや華やかな着物に身を包んだ新成人たちが、級友との再会を喜び合ったり肩を突き合ったり、一緒に記念撮影をしたりして、若さいっぱい輝かしい人生の節目を祝いました。